



学校だより 2学期始業式

文京区立第一中学校 令和6年9月2日(月)

まつり

校長 田島 佳子

7月20日に行った一中祭は、途中で雨に降られましたが、その後も場所を体育館に変えて終了時間まで、盆踊りを楽しむ地域の方の姿が見られました。今年度も1600人もの地域の方にご来場いただきありがとうございました。3年前に始めた一中祭がこれほどまでに皆様にご期待いただくとは思っておりませんでした。今後の運営をさらに改善してよりよいものにして参ります。

さて、私事ではありますが、副校長時代の仲間が二人、東京都の八丈島で現在、校長をしています。3年前から夏になると、友達と一緒に八丈島を訪れております。最初は7月の下旬に、2回目は8月の初旬に行きました。今年はお盆の時期に行きました。8月11日は底土という海水浴場での花火大会がありました。普通に花火が上がるのですが、途中で記念花火というのがあります。お金を出して個人がメッセージを添えてあげる花火です。天国にいる親族や友達に向けた言葉に感動して、涙がながれました。夏の夜空に浮かび上がる色とりどりの花火を天国からも見てるのかな、と思いました。

13、14日はそれぞれの地域で盆踊りがありました。盆踊りというよりフォークダンスでした。3つの町会というか地域を回りました、八丈島は25年くらい前には1万2千人くらいの人口があったそうですが、現在は6千人程度とのことです。限界集落という言葉を知っていますか。その現実を目の当たりにしてきました。廃校になった小学校がいくつかありました。その校庭で盆踊りが行われていました。どこの地域も人がいなくなって、盆踊りを開催するにも大変とのことでした。それでも一度なくなってしまうと再び行うのは、難しいので、必死で守っています。特にその地域にしか残っていない踊りがあるところは毎年練習会をして若い人や子供に伝えています。

私たちが子供の頃に普通だと思っていた夏の風景は、今は普通ではないのです。生活様式が変わり、マンションが増え、考え方が変わりました。今時、盆踊りなんて、お祭りなんてと言って、なくすことは簡単です。でも2度と戻らないのです。とても大変なことだけれど必死で守らなければならないものもあるのです。東京から290kmも離れた島で必死で守っている人たちがいました。夏休みだけ遊びに行く旅行者にも温かく声をかけて、こんなに遠くの島までよくきてくれたという思いで、接してくれます。「おじゃりあれ」は八丈島の方言で「いらっしゃいませ」という意味で温かい言葉です。

文京区には由緒ある神社が多くあります。本校の学区地域にもあります。9月7、8日は簸川(ひかわ)神社の例大祭、9月21、22日は吹上稲荷神社の例大祭があります。各町会で子供神輿や大人神輿などが予定されているようです。神様の乗り物が神輿です、それに乗って氏子の地域を廻ります。途中で休憩するところが各町会で設置する神酒所です。紅白の垂れ幕で飾られます。生徒の皆さんの町会にも神酒所があります。皆さんの曾祖父母や祖父母、ご両親が守ってきたものです。

もしできるなら、町会の一員としてお手伝いを。

いよいよ2学期が始まります。

長い夏休みが終了し、本日から2学期が始まりました、皆さんにとって、どんなお休みだったのでしょうか。計画通りにできた人、途中まではよかったけれど、途中から計画通りに行かなかった人、思わぬことが起きた人などそれぞれだったのではないのでしょうか。最初はなかなか体も心もついて行かないこともあるでしょうが、焦らずに着実にやっていきましょう。とはいっても、2学期はやらなくてはならないことや、大きな行事がたくさんあります。体調を整えて思う存分できるようにしていきましょう。

文京区 沖縄 平和特派員 7月30日から8月2日



夏季休業中の活躍

第63回	東京都中学校総合体育大会	男子	バドミントン	ベスト16
第63回	東京都中学校総合体育大会	女子	バドミントン	ベスト16
第64回	東京都中学生吹奏楽コンクール			銀賞
第12回	全日本小中学生ダンスコンクール	東日本大会		銅賞
令和6年度	文京区総合体育大会	男子	バスケットボール	優勝
令和6年度	文京区総合体育大会	男子	バドミントン	優勝
令和6年度	文京区総合体育大会	女子	バドミントン	優勝
令和6年度	文京区総合体育大会	男女個人戦	バドミントン	入賞多数